

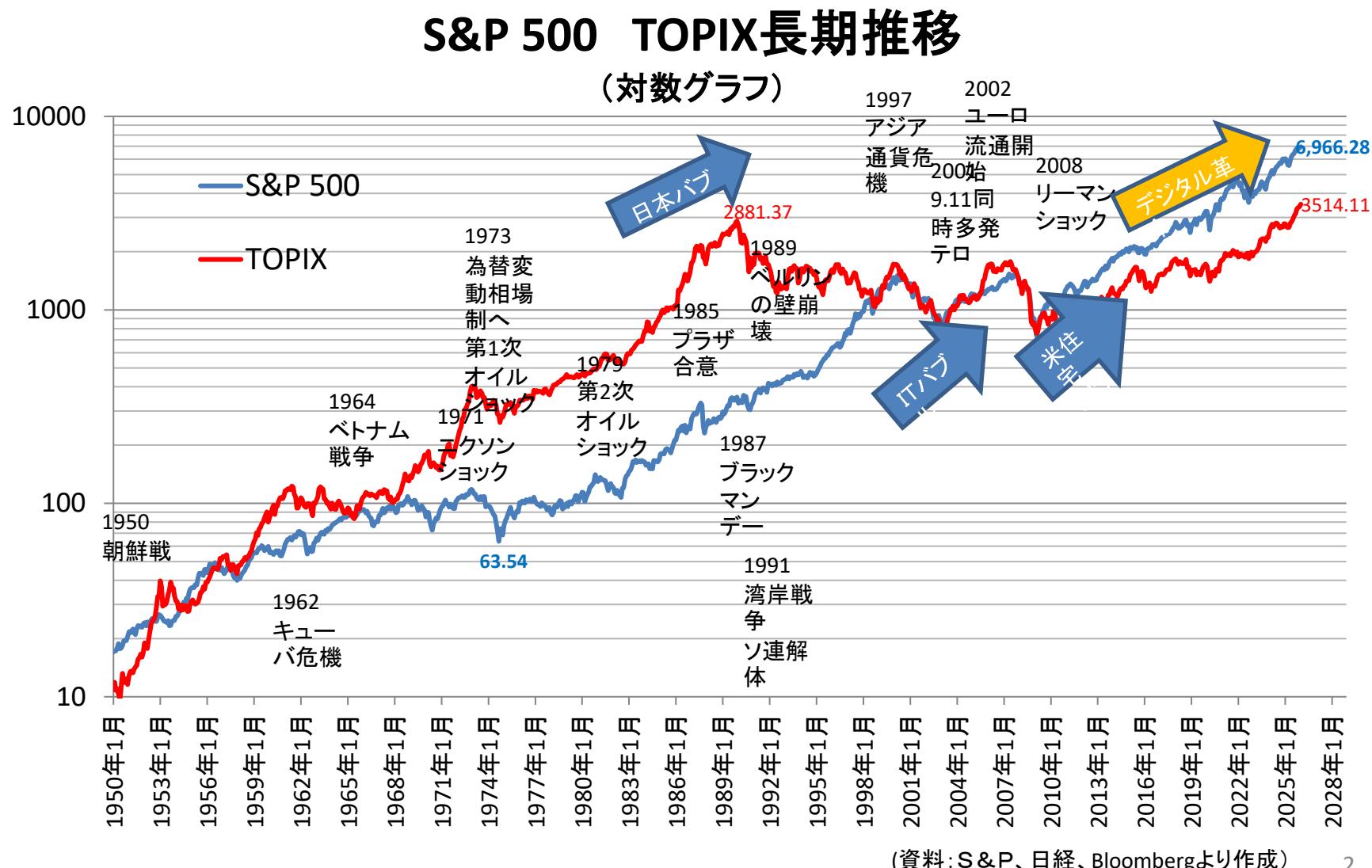


Weekly Market Monitor

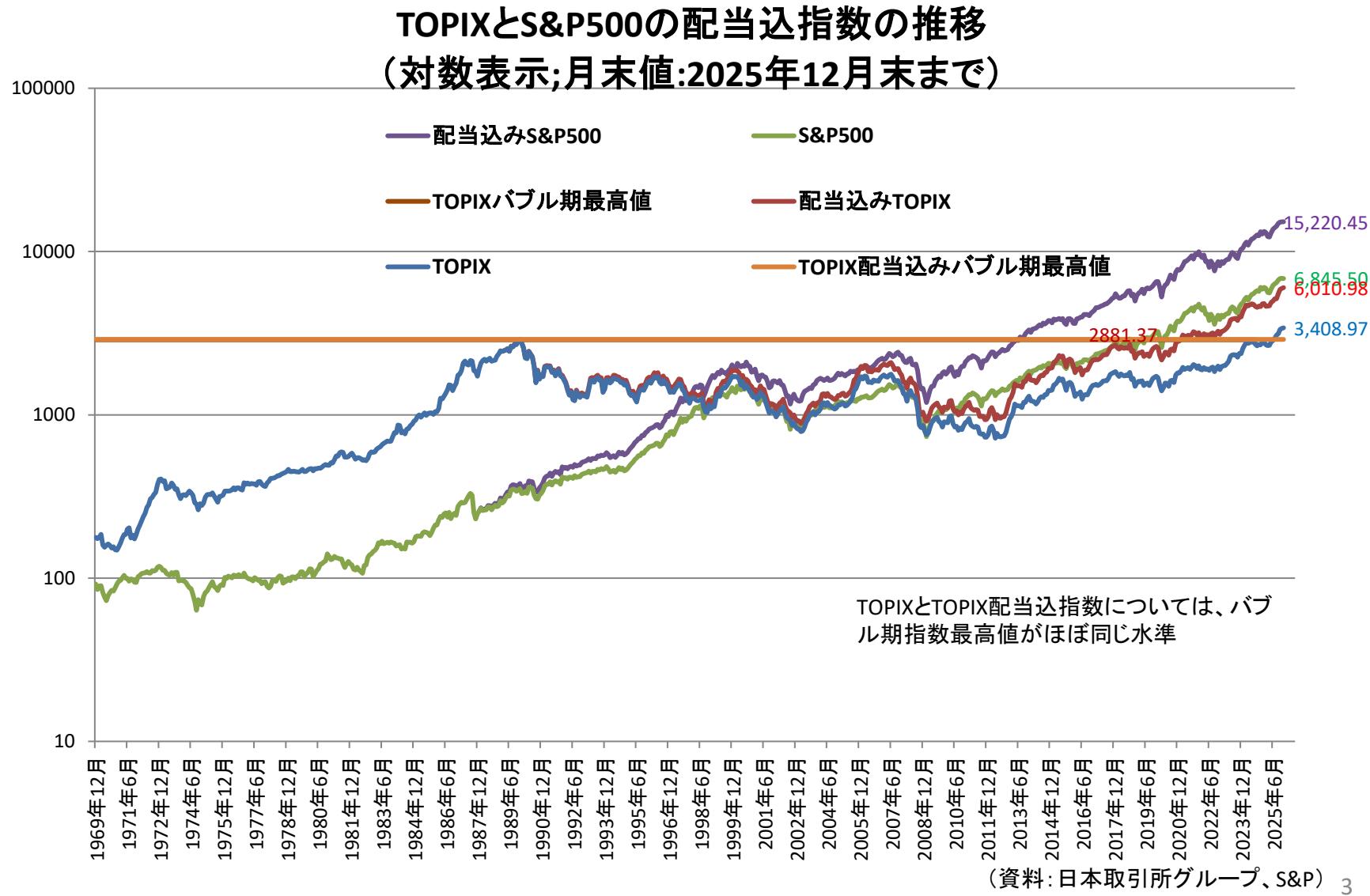
---株式編---

2026年1月9日データ収録

長期イノベーションあるも、世界秩序転換の過渡期入り
---日本株は元々周回遅れで、漸く世界市場全体に追随---

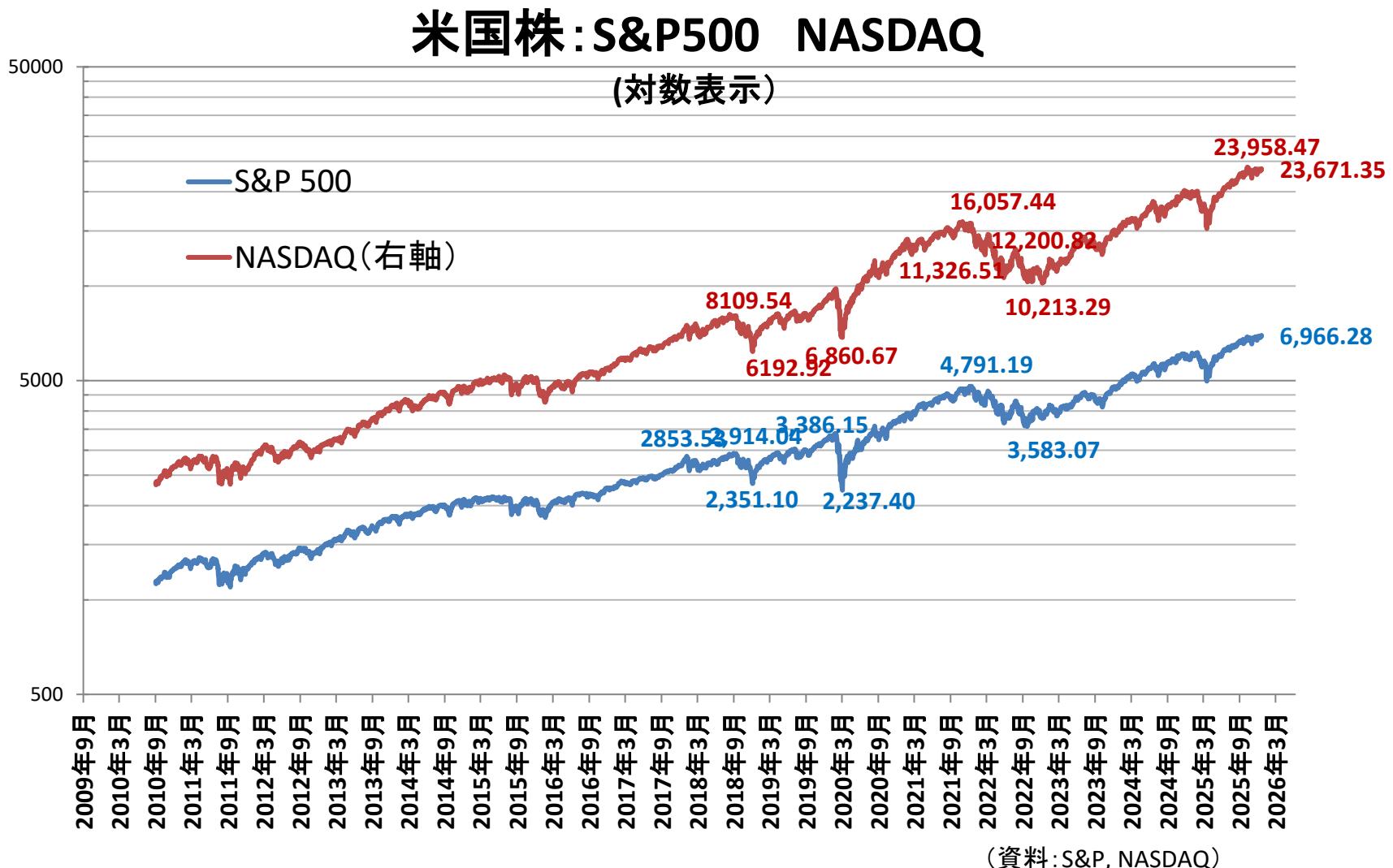


配当込では、日米市場共過去最高水準



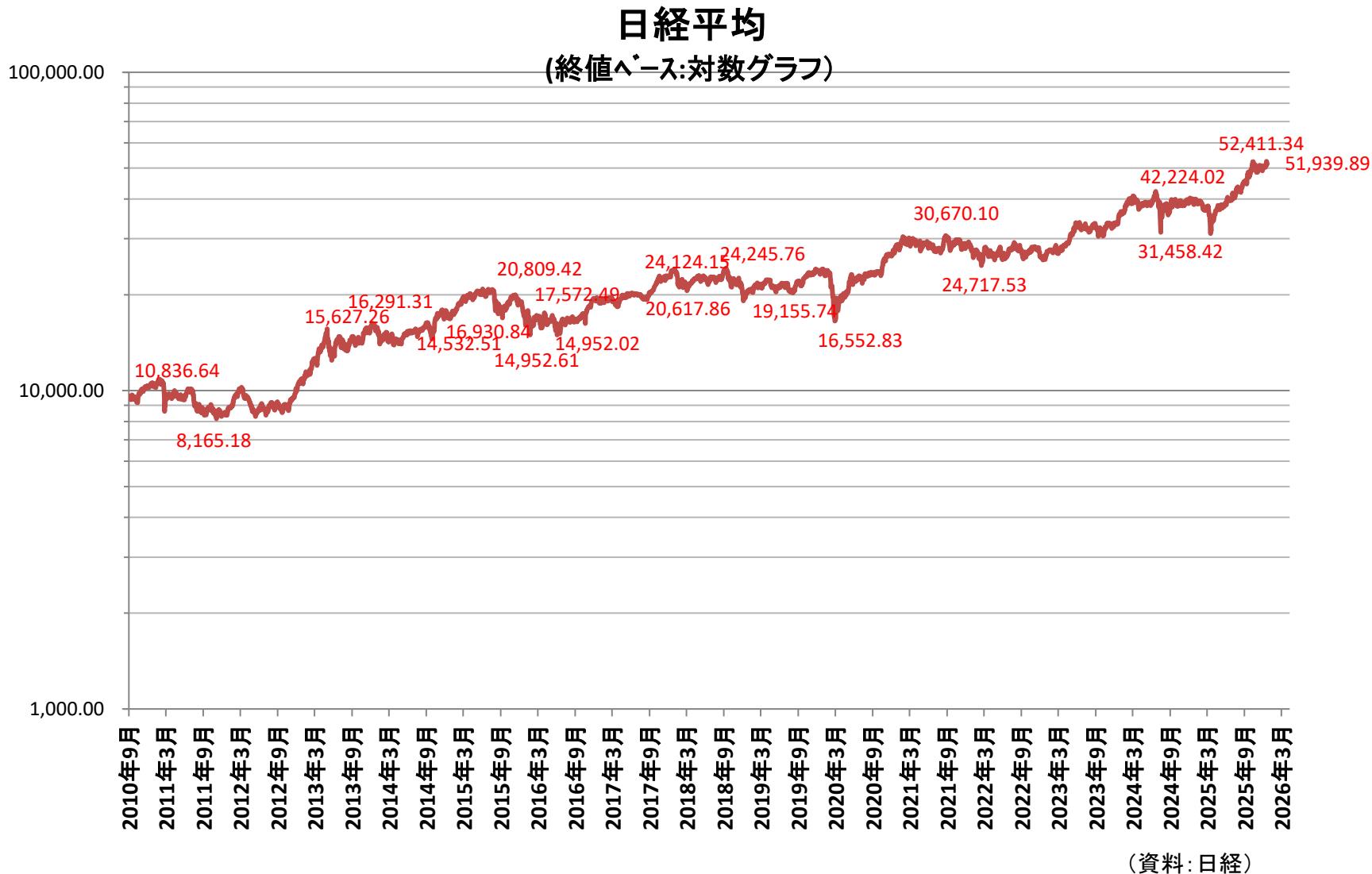
米国株式は最高値を漸進的に更新

---景気鈍化懸念と関税問題一服後、最高値---



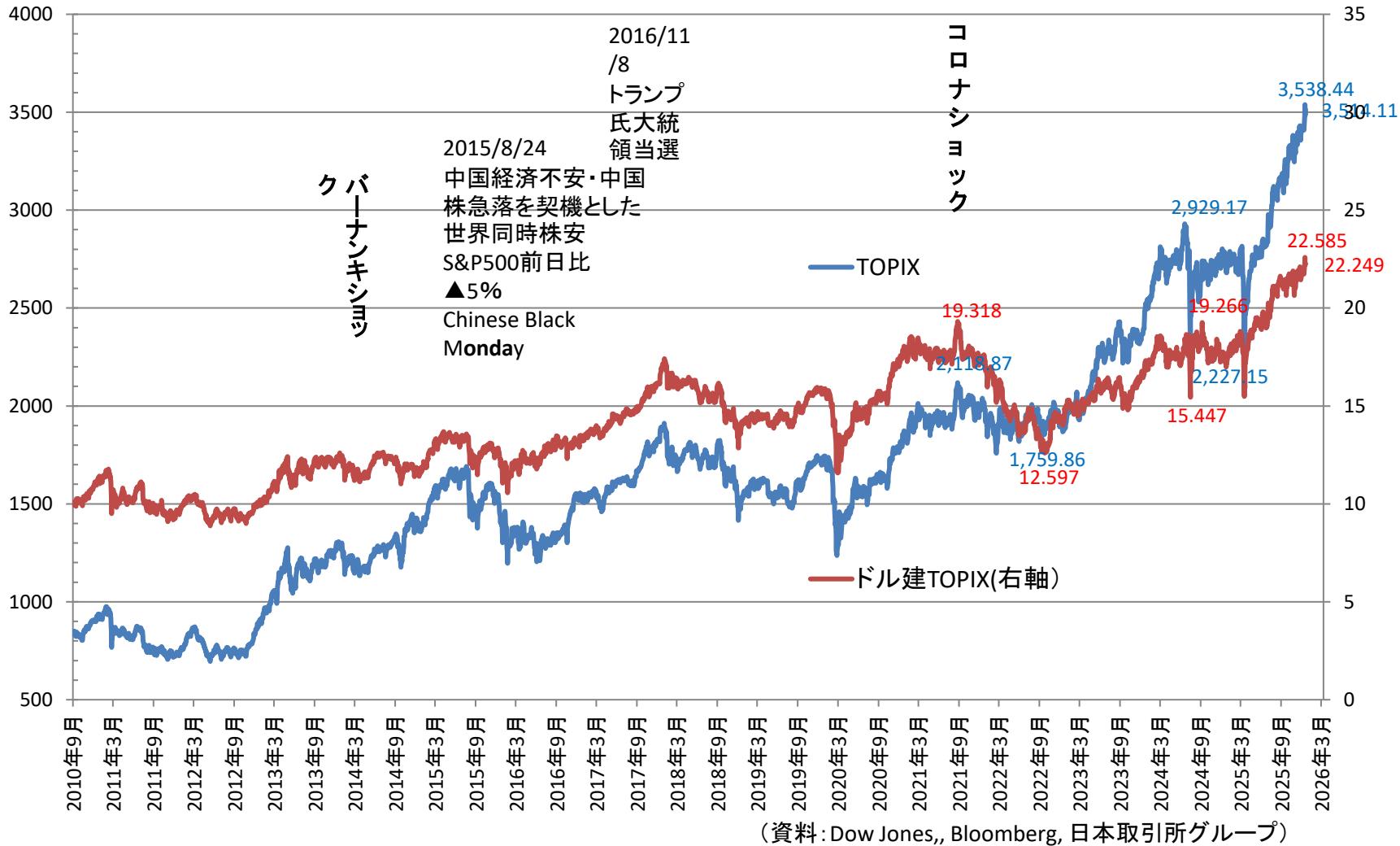
日経平均は世界同時調整から回復で新高値近傍

---テクノロジーなど主導で上昇---



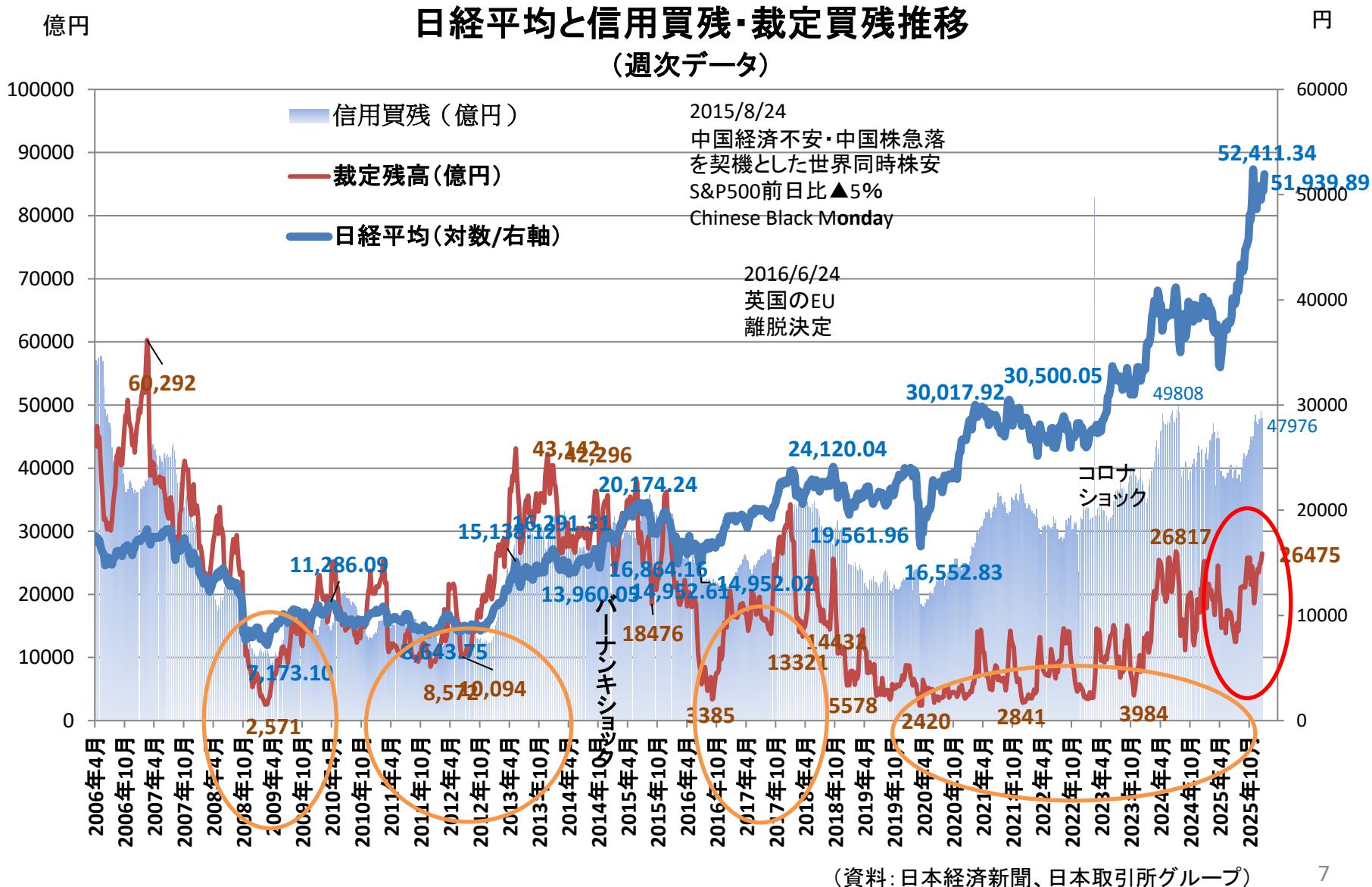
TOPIXドル建指数は円の反発で大きく下がらず ---関税問題の一服で調整から回復---

TOPIX 円建・ドル建比較



国内株式は裁定残再拡大

---信用残は足許急増。裁定残も増加後の水準維持---

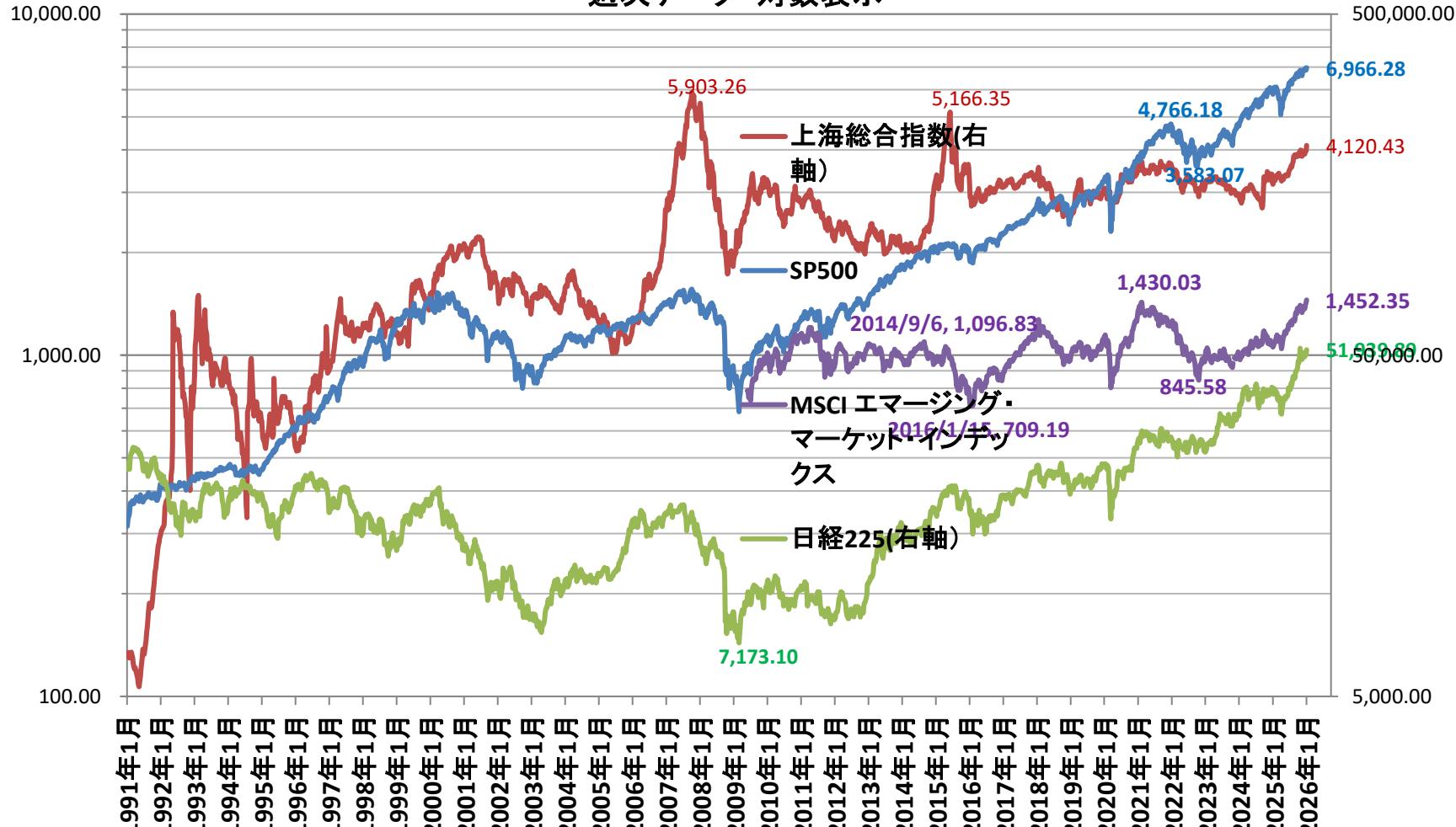


日本・中国・新興国株式と米国株式の動き

---世界景気懸念縮小で米中心に調整から回復---

株価動向

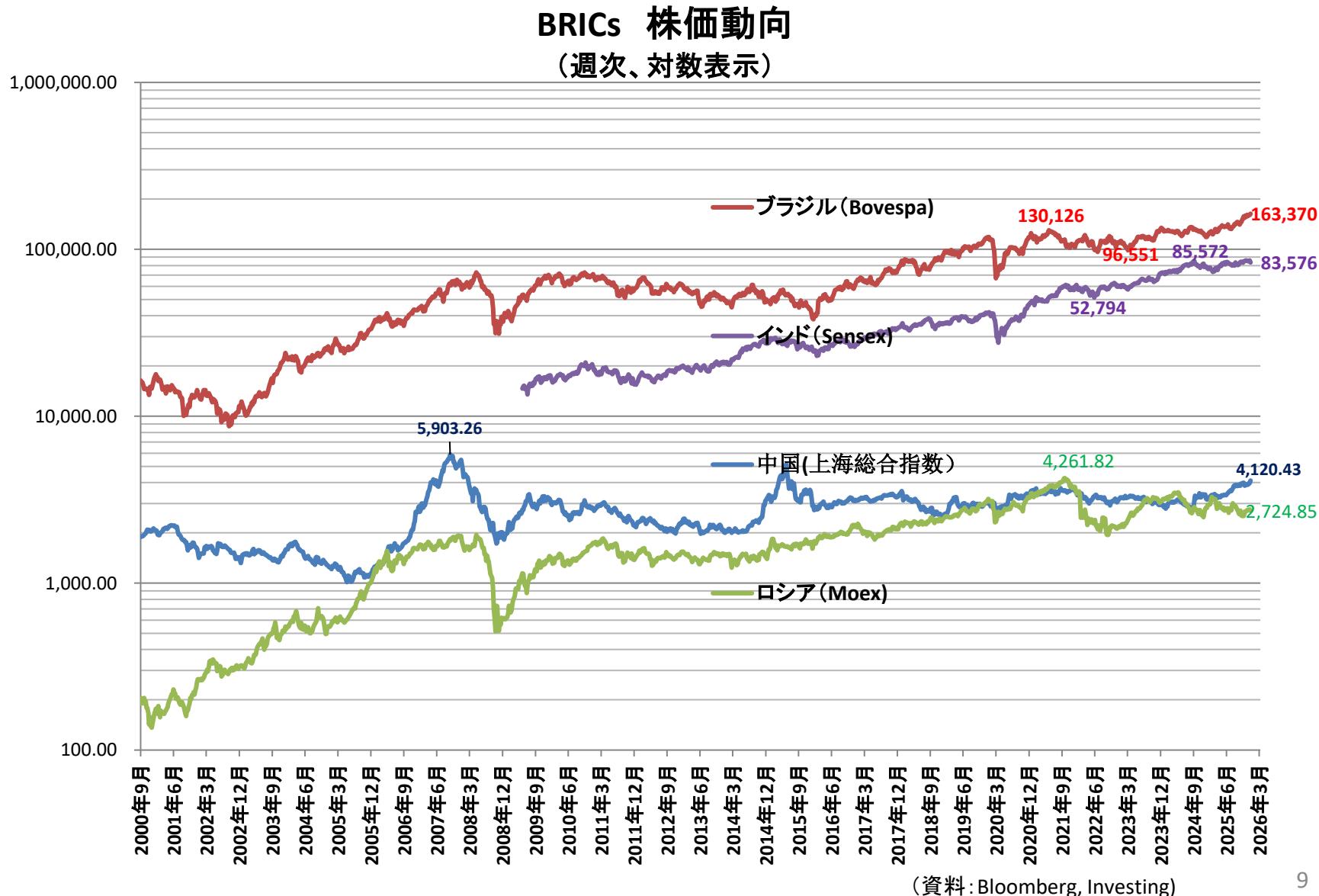
--- 週次データ 対数表示 ---



(資料:S&P、上海証券取引所、日経、MSCI)

新興国BRICs株式の動き

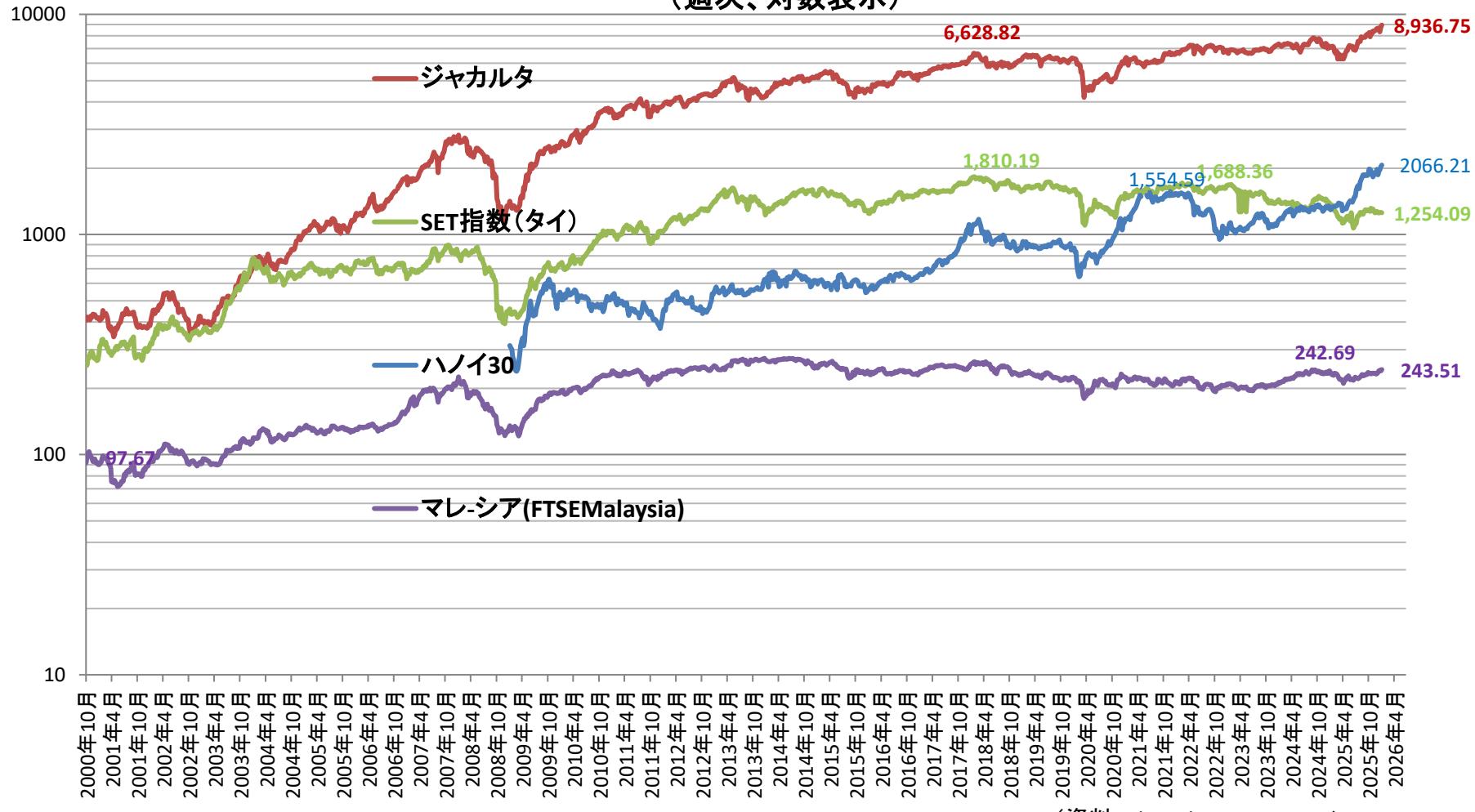
---米政権の関税懸念が後退し、回復



東南アジア新興国株式の動き

---世界景気の鈍化懸念の後退で全般に調整から回復---

アジア新興国株価
(週次、対数表示)



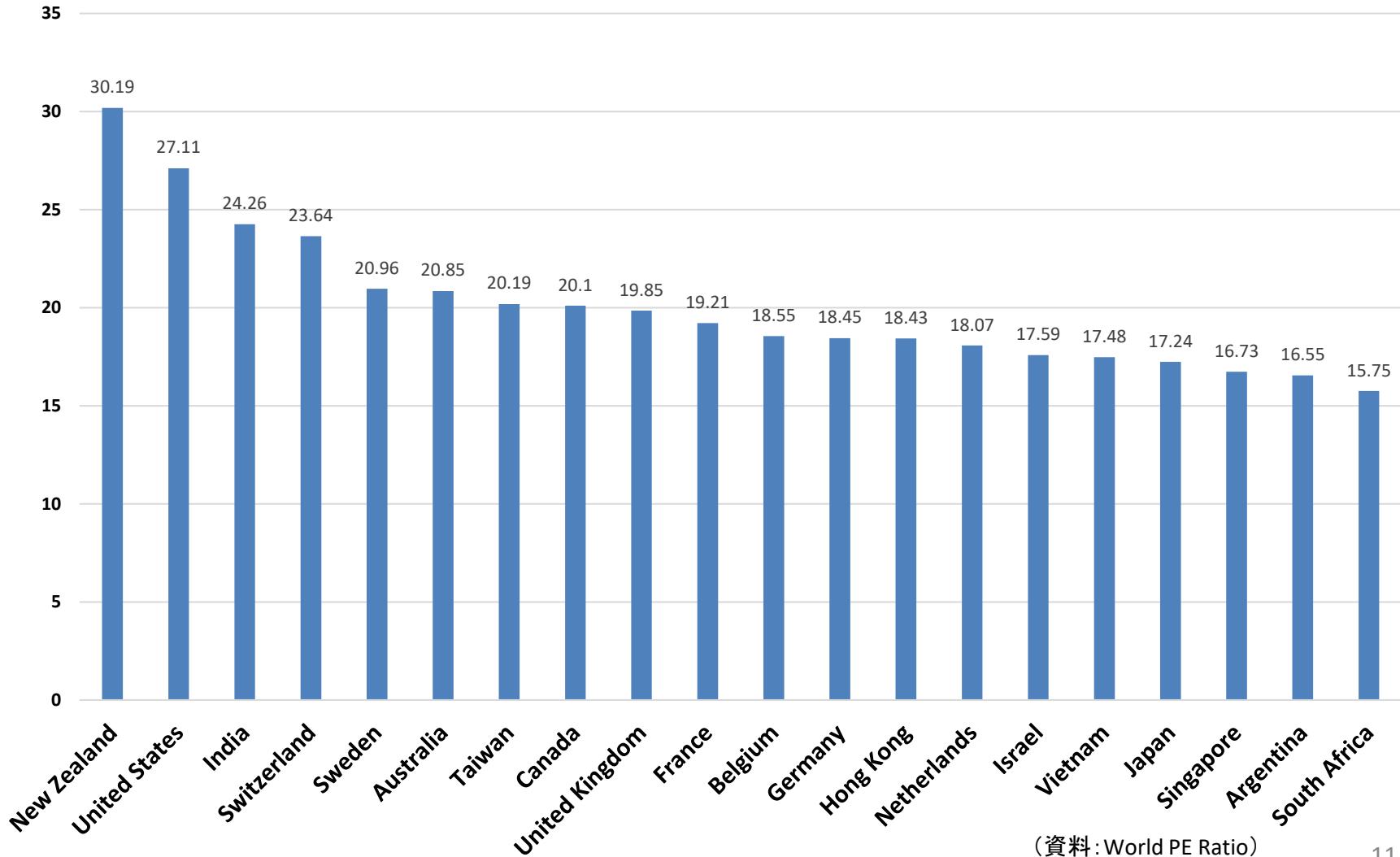
(資料:Bloomberg, Investing)

世界のヴァリュエーション比較

---実績PER20倍超は明らかに割高---

実績PER上位20

(2026/1/9現在)



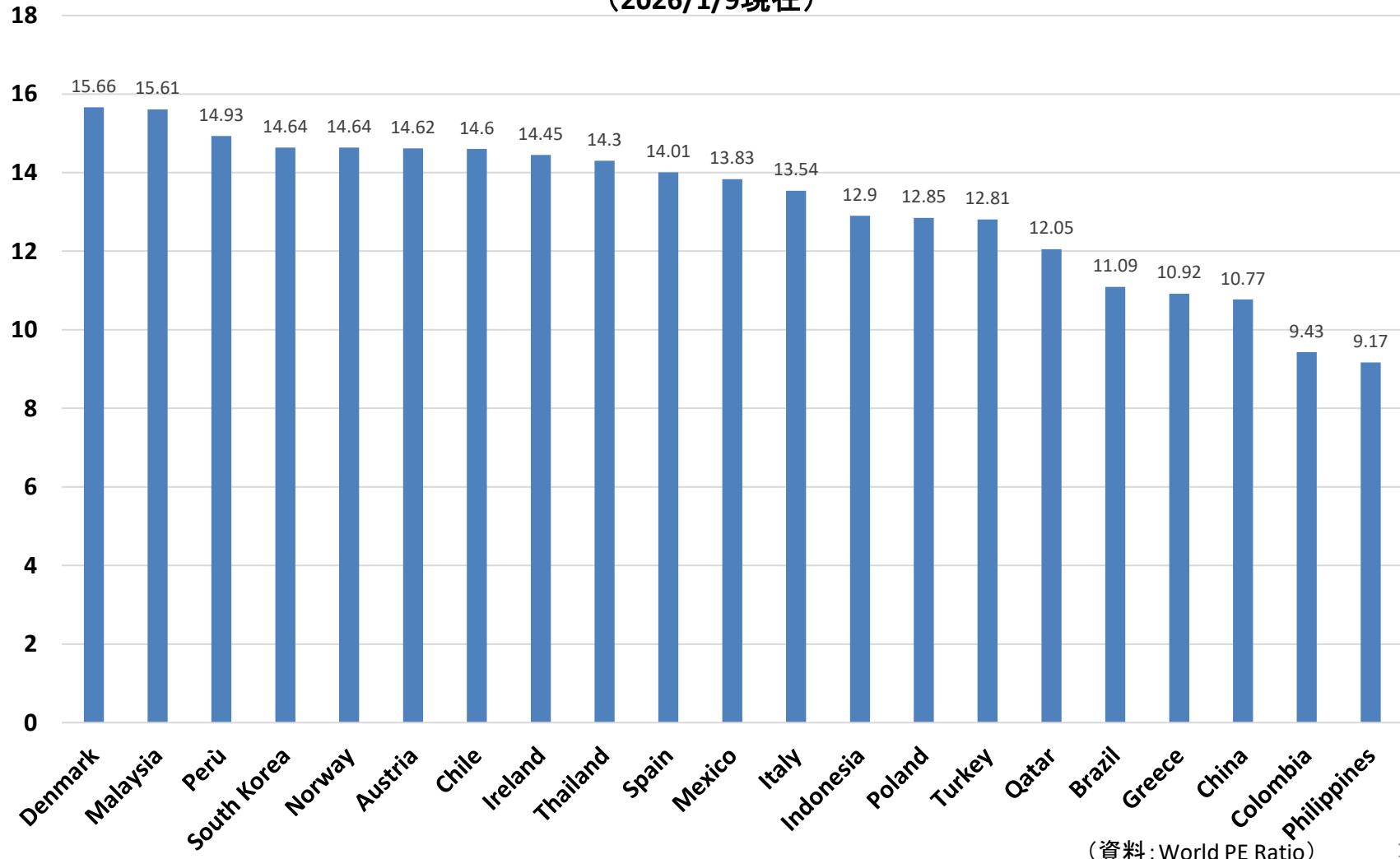
(資料:World PE Ratio)

世界のヴァリュエーション比較

---新興国はリスク・プレミアムが高く、相対的に低PER---

実績PER下位

(2026/1/9現在)



(資料: World PE Ratio)

米国は業績面で上方への動きが頭打ち

---米国株は引き続き割高な状態---

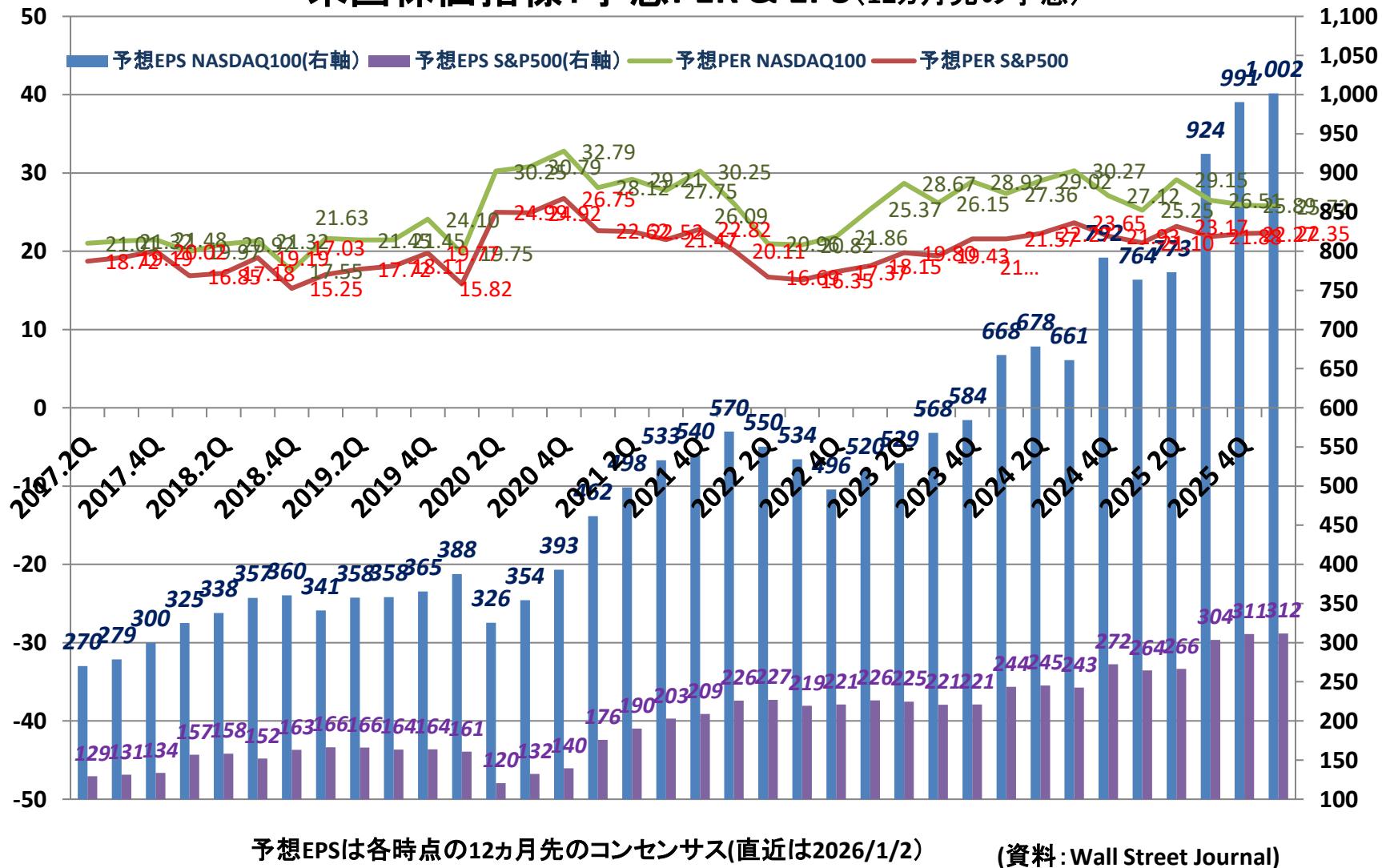
日米株価指標					
インデックス	株価収益率		インデックス	配当利回り	
	現在	予想ベース		現在	1年前
Dow工業株30種平均	25.75	23.42	Dow工業株30種平均	1.69%	1.94%
Dow運輸株	37.36	24.05	Dow運輸株	1.44%	1.58%
Dow公共株	20.60	24.58	Dow公共株	2.92%	3.06%
Russell 2000	37.02	23.71	Russell 2000	1.26%	1.42%
Nasdaq 100	32.62	25.72	Nasdaq 100	0.65%	0.74%
S&P 500	25.68	22.35	S&P 500	1.13%	1.26%
株価収益率(連結決算ベース)			平均配当利回り(売買単位換算)		
インデックス	前期基準	今期予想	インデックス	前期基準	今期予想
日経平均	18.98	19.53	日経平均	1.67%	1.78%
JPX日経400	17.68	18.52	JPX日経400	1.74%	1.87%
日経300	18.95	19.17	日経300	1.74%	1.87%
日経500平均	18.72	19.10	プライム全銘柄	2.13%	2.30%
プライム全銘柄	18.55	18.68	プライム全銘柄(加重)	1.92%	2.10%
スタンダード全銘柄	17.21	15.48	スタンダード全銘柄	2.23%	2.32%
グロース全銘柄	120.91	36.29	スタンダード全銘柄(加重)	2.06%	2.18%
注)	2026/1/9 基準		グロース全銘柄	0.71%	0.84%
*米国の予想ベースは12か月後業績コンセンサス			グロース全銘柄(加重)	0.51%	0.59%
12ヶ月EPS予想	2024/12/27比				
2026/1/9	S&P500	14.48%			
2026/1/9	NASDAQ100	26.53%			

(資料: Wall Street Journal, 日経)

米国は再び割高感が台頭

---予想利益は拡大から横這い圏---

米国株価指標: 予想PER & EPS(12ヶ月先の予想)



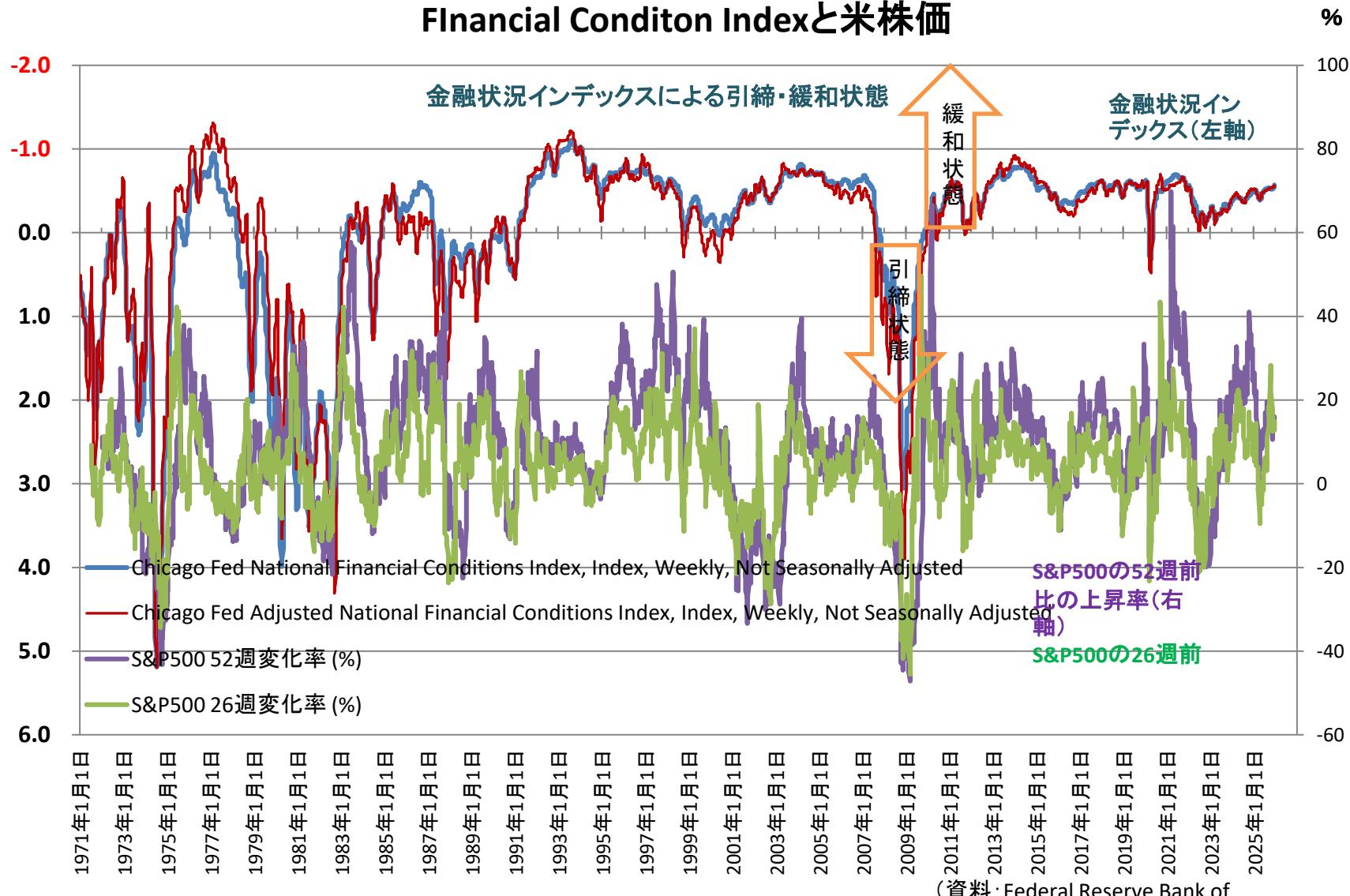
予想EPSは各時点の12ヶ月先のコンセンサス(直近は2026/1/2)

(資料: Wall Street Journal)

金融緩和と米株価の関係

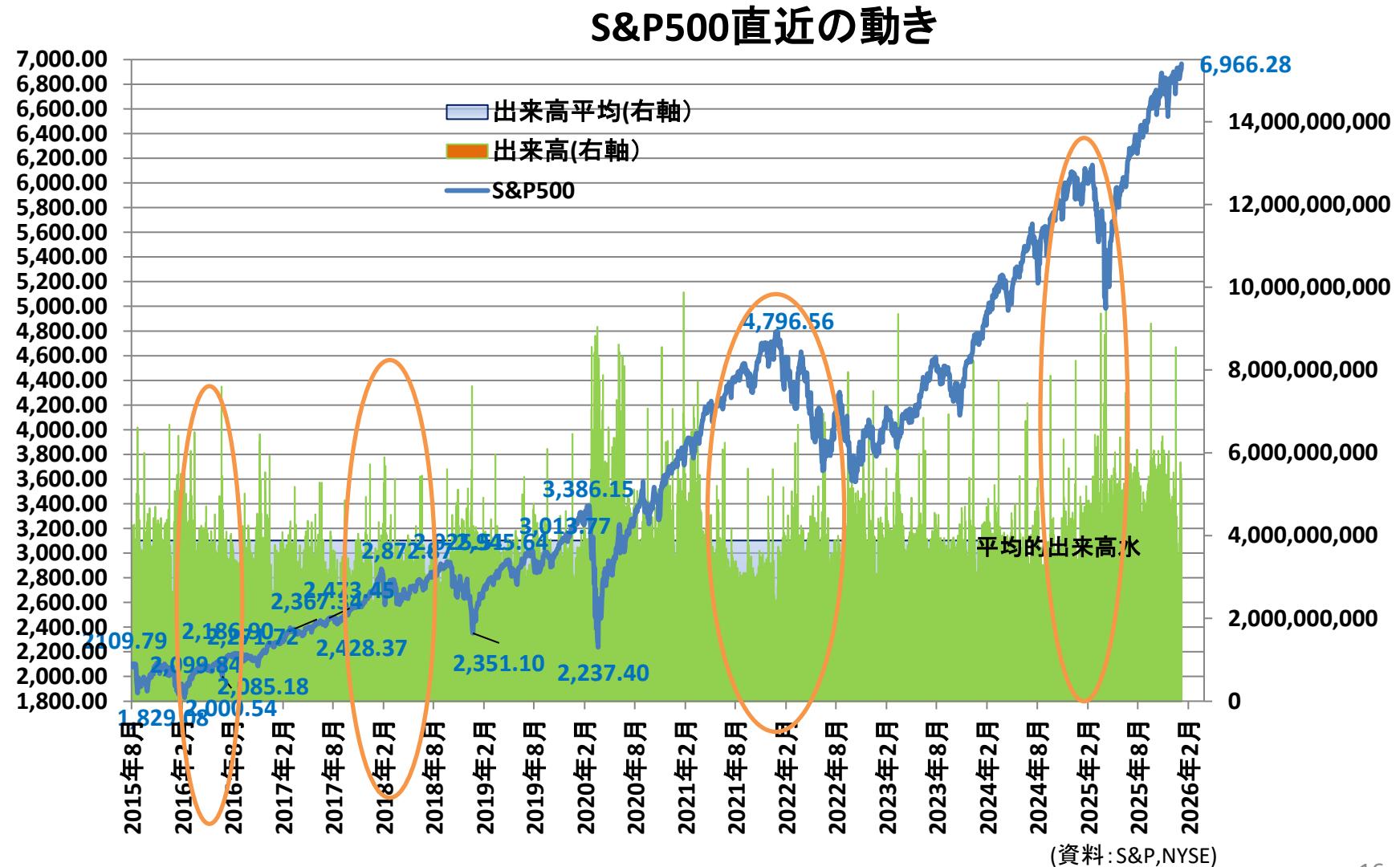
---超緩和から一定水準タイトになったものの、実質は緩和基調---

Financial Condition Indexと米株価



米国株は米金利高止まりでも最高水準近傍維持

---出来高は平均水準を足元では上回っている---



DISCLAIMER

本レポートに含まれる情報は、予測に関するものを含め、本レポートの発行時点で、信頼に足ると考えられる資料及び情報源から取得したものです。当社は、それらの情報の正確性について疑うべき事由を認識してはおりませんが、それらの情報に関する検証を行ってはおらず、また、それらの情報について表明、保証等を行うものではありません。本レポートの読者は、本レポートに含まれる情報の関連性、正確性及び完全性並びにそれらの情報が最新のものであるか否かについて、独自に評価する責任があります。

本レポートは、純粋な情報提供の目的でご提供するものであり、従って、有価証券若しくはその他の金融商品の売買若しくは取得の申し込み又はその誘因を目的とするものではありません。

当社は、何人に対しても、本レポートに含まれる情報を使用し、またはそれらの情報に依拠したことにより生じた損失、損害、費用及び経費について、一切責任を負いません。